

塩田地域協議会会議録（第3回）

日 時 平成18年12月21日（木） 午後2時から4時30分

場 所 塩田公民館 2階ホール

出席委員 大口委員、岡村委員、工藤委員、小山委員、佐藤委員、竹内幸雄委員、
中沢委員、西澤委員、林委員、平林委員、林委員、南委員、峯村委員、
宮入委員、宮沢委員、山極委員、若林悦郎委員（17名）

市側出席者 小林上田地域自治センター長、甲田塩田地域自治センター長、古川塩田地
域自治センター庶務企画係長、政策企画課西沢主査

1 開 会（塩田地域自治センター長）

2 会長あいさつ（大口会長）

皆さんこんにちは、平成18年もあと10日となりました。

今日は3回目ということになりますが、いよいよ諮問も出てまいります。この地域に
ふさわしいご意見を出していただき、今日は更に詳しい説明があると思いますが、そ
れに肉付けをしていただき、最終的には7つの塩田からのものを出していきたいと考
えておりますので、本日もよろしく願います

（塩田センター長）本日、塩入委員さん、若林陽子委員さんから欠席のご連絡をいただい
ております。また、林委員さんが若干遅れるということ連絡がきております。

3 会議事項（進行：会長）

（1）諮問 第一次上田市総合計画地域まちづくり方針について

（会長）（1）の第一次上田市総合計画地域まちづくり方針の諮問ということで、別紙
3ということですが、これは事務局、局長のほうですか、よろしく願いま
す。

上田地域自治センター長から会長に、第一次上田市総合計画地域まちづくり方針に
ついて、諮問書を手渡し、諮問

（会長）今諮問書を受け取りました。今聞いていたと思いますが、最終的には2月5日
ということですので、1月に協議会を2回予定していきたいと思っておりますので 忙しい
ですけどそんなことをお願いしたいと思っております。それでは説明ということをお願い
したいと思います。

（政策規格化西沢主査）それでは事務局の方から説明したいと思います。

諮問書添付の資料等により、概要について説明

（塩田自治センター長）ご意見いただく前に、事前にお送りしてあります計画シート、

この協議会としてどういう報告でまとめていくかということで、事務局としてその辺のところを説明させていただくということよろしいでしょうか。

(会長) それでは、事務局の説明をお聞きしてから皆さんのご意見をお聞きしたいと思います。

(塩田自治センター長) それでは、事前にお送りさせていただきました塩田地域まちづくり方針シートということで、これはあくまで事務局で作成したたたき台ということでございます。

資料シートにより内容等を説明

(会長) それでは今のたたき台を元に、あくまで事務局のたたき台という事でありますので、意見をお出しいただきたい。順を追ってそれぞれご意見をお聞きしたいと思います。はじめに について。

(委員) その前に一つ質問をお願いします。塩田と川西は田園空間整備事業になっているが、過去自治会を通して細かい、100位でているが、それでこれ県の方の関係であれがどうなっているのか、お聞きしたい。資料を見ると細かいものがあるが、要求とかがどういう状況なのか、進捗状況を教えていただきたい。

(小林センター長) 農政の方で推進している事業になります。今日は担当がいないので私が承知している範囲でお答えしたい。

知事が代わられて県のほうも、権限の移譲も含めてそれぞれの声を聞くということでございます。政策企画局の中で、ボイスの中で市長が聞く事項と事務レベルで聞くものと仕分けをしているところ。その中で当然田空事業も入ってくると認識している。土地改良サイドの話では、引き続き田空事業について事業が進むよう要望しているということでありまして、それ以上の県の状況は現在のところはっきり分からないという状況です。

(会長) ただ今の説明でよろしいですか。

たまたま私も関わっているということで私に分かることは私の方で、また、他に関わっている委員さんもおられますので、私の方でいいですか？

(委員) 11年から出てきているが、その後どうなっているか分からなかったですが、塩田の活性化委員長という立場で維持管理も含め一時話が進んだわけですが、その後状況が変わってきまして、後で聞こうと思ったんですが、この地域コミュニティセンター田空で整備する件とどういう風にリンクしてくるのか、今ニュース等で箱物で無駄な税金使いということが問題となっており、そういう可能性があると思うと困っており、進み具合も市に聞いてもはっきりしないということで、県が事業を19年度にはやるということのようです。コア施設は1億円ということで、地元で負担金をという項目も出てきたものですから、非常に難しいところに来ている。ここにできて、西塩田にできてその兼ね合いがどうなるか、市はどのような風な位置付けで両方運営していくか、私も疑問に思いながら、できればいいなあ、できたらどうなるか、非常に難しいという考えを今現在持っている。

(上田地域自治センター長) こちらには田空事業とは違う事業で市が対応する、コア施設、これは旧西塩田小学校の建物で後々の管理等が見えていないという状況、ただし市とすればコア施設を作る方向で現在県の方をお願いしていくという方向は間違いありませんので、今回ご議論いただく総合計画地域まちづくり方針においては、そういう方向でご議論いただければと思っている。

- (会長)ただ今説明ありましたが、他にご意見あれば。
- (委員)私が言いたいのは、コアの部分も含めて、細部に細かいのが集積されたものがあればそれを参考にしながらやっていけばということ。
- (会長)センター長、もしコピーできれば。
- (塩田センター長)要望ですか。
- (会長)田空の最終の資料、実はいくつかにまとまっているが、現実には20位にまとめたものがあると思うので。あったらお願いしたい。
- (塩田センター長)当初に要望として出されたものと、その後県との調整でまとめたものがあると思うので、後で送るという形で。
- (会長)県がまとめたもので結構ですので、事務局の方で用意するということをお願いします。田空に関しては皆さんにまた資料送りますが、それを見ていただいて、また意見を出していただければいいかなと思います。
- (委員)観光から始まって必ず全部関係してくるはず。
- (委員)別に観光課の方で会議がありますが、観光ビジョンですか、それは今はどうなっていて、それとの関連はどうなるのか。
- (会長)局長の方から。
- (小林上田センター長)総合計画というものが在りまして説明申し上げたとおり、市の一番の上位計画ということ。総合計画の下に観光ビジョンですとか、中心市街地活性化の計画ですとか、都市計画のマスタープランですとかいろんな計画がいっぱいあるんですけど、総合計画との整合性を取りながら、今並行して、同時に進めている。今の話は観光課の方で地区ごとに話に入ってきたものだと思います。そういうものも含めて、自分はこういったものを入れたいと言う意見を出していただいて、具体的なご意見でもよろしいですし、事務局の方で整理したもので、それに捉われなくても、第二の会議の前に事務局で大きい項目ごとに整理し、第二回目の審議の中で皆さんにご審議いただく予定で考えています。
- (会長)そういうことで。全体のご意見を聞く前に各委員の方で何かありますでしょうか。
- (委員)実施していくには莫大なお金がかかるが、お金のことは全く考えていないが、それでいいですか。
- (小林上田センター長)そういうことで結構です。先ほどの政策企画課の西沢君の方で説明したように、のところに実施計画というものがありますが、この中で具体的に何をやるかと、何年度にやるかということがこの実施計画の中で決まっていく。せっかく新市になって作る総合計画ですから、夢のあるものでないとならないものになるということもありますので、そういう観点でご議論をいただきたい。
- (委員)この4つの方針で行くという確認でしょうか。
- (会長)これはやはりこの4つを入れていただきたいというのが事務局の要望です。
- (委員)これはたたき台だから。
- (小林上田センター長)この4項目について良いのか悪いのか、こういったご意見はいただきたい、その他に7項目以内に取りまとめたいということで、これ以外にも当然あるわけですから、両方意見をいただきたいということ。です。
- (会長)最終的には7つまでということですから、それは皆さんの意見を聞きながらまとめていければということ。全体として何かございますか。これから項目ごとに従って、まずの観光の推進について、これを取り上げるか含めてご意見を伺いたい

と思いますが。

(委員)塩田の発展にかかせないことだと思う。市の循環道路計画、古安曾から中塩田までというのがあるが、今までずっと要望してきた観光開発については、いっそ市は手はつけていない。まず、循環道路、観光的なものはやってもらわないと困る。今の状況でいけば、できる可能性が無いように思うが、やっぱり平井寺トンネルができた、それから別所温泉に行く、さらに青木に行く、そういうルートが希望されてきたが、そういう循環道路を整備してもらいたい。それから、案内板、観光案内板が全く遅れている、他の観光地から見れば。歩く道路と車の道路と両方併設していかないとだめだろうと思う。遠くから来た皆さんがそれを見ながら塩田を歩けるようなものを作っていただきたい。案内板というものも順次計画的に進めてほしい。そういうものが市のほうに伝わっているか分かりませんが、地元としては道路を含め是非計画的に進めることを要望する。

(会長)確かにまだまだきちとした看板は少ない。

(委員)確かに案内板については、コモンズとかでやっているんですが、道路を作るのは大変結構だが、今思うと主要幹線道路はある程度決めて、それ以外はやたらやっつけていけないという方が良いのではないか。自然というか、田園風景、田舎というのが崩れている気がする。展望台作って毎朝くらい見ているが、塩田の良さは豊かな自然、田園風景なので、その辺を加味して道路計画とかやっっていくべきと考える。

(委員)例えば丸子の方から来たところに、別所とかの、塩田の広範囲な案内板が必要

(委員)今の意見のとおり、観光資源へのルート、案内板の整備は必要と思う。加えて、資源は文化財だけでなく、田園風景、狭山池の桜なんかも同様の資源。諸々の資源を一つのマップにして案内できるような体制作りが必要なのでは。それから、もう一つ、上田の市街地ではやっているが、観光ボランティアなどにより説明ができる体制、育成の講習会等も必要なのではないかと思う。そんな風に感じます。

(委員)ソフト面が重要。住民が、塩田は観光地だという意識付けも必要ではないか。別所もやっと近年になって観光地という意識がついてきた。別所温泉に人がくれば、別所温泉そのものが活性化するという意識になれば、いい効果がでてくる。ボランティアガイドも必要で、そういう意識付けが大いに重要であると思う。

(委員)観光ビジョンの会議でも食の方に参加してきたが、バスが停まれる店が1軒しかない。バスが停まって、地元の物も食べられる施設がほしいと思います。

(委員)西塩田地区の要望にあると思うが、独鈷山からトンネルで武石に抜ける道路の整備で美ヶ原と結びつくようなことも。千本桜もやっているが、実際は宿泊は他の観光地となっている。こういうことをみんなで考えていく必要があるように思う。道路行政により、観光地にも良くなっていく。

(会長)西塩田では何十年も取り組んでいる。別所にも影響があることと思う。

(委員)合併して松本市と隣接になったが、アクセスが無い状況。路線バスも松本からは鹿教湯までしかない。松本からバスなどでこちらに来る術が無い、現実には鉄道のルートしかない。松本と下之郷を結ぶシャトルバスなどができればよいと思う。信大病院に通っている人もいるが、タクシーだと15000円もかかると聞いている。

(委員)新聞で、相互乗り入れの話が出ていたが。

(小林センター長)今の件は、上田、松本の両市長のトップ会談の話だが、民間バス会社への働きかけと職員間での詰めの話はある。そういう方向付けを総合計画の中で行い、協働して取り組んでいくことが必要と考えている。委員の皆さんにはその想いを

- 出していただきたい。
- (委員)別所線の電車で移動しているが、神畑あたりから沿線の風景に感動する観光客が多い。しかし、大きな建物等で風景が一変している。電車は素晴らしいので、沿線の活動も必要と思われる。
- (会長)存続にも皆さんのお力をお貸しいただきたい。
- (委員)ぜひ「別所線」をキーワードとして入れたい。
- (塩田センター長)今の件については、塩田のまちづくり方針としても対応したい。
- (委員)別所線の利用度を上げるには、スピードアップか長い距離にするしかないと思う。別所まででなく、松本まで延ばしたら効果大きい、楽しくなる。
- (委員)駅が観光地点から離れていて使いにくいところはあるが別所線の存続がなければ塩田の観光は半減してしまう。助成が将来にわたっていくのかどうかも問題で、国の助成があれば続くだろうが、近い将来廃線にならないように対策することが必要と思う。住民が利用できる対策として駐車場等も必要だろう。基本線は変えないで。
- (小林センター長)大学前にパーク&ライドの駐車場は整備されており、東塩田から丸子方面での利用を見込んでいる。舞田、中野の駅の整備もあり、用地があれば可能となる。別所線は企業という考えから、市が支援する、企業努力、沿線住民の活動という三位一体で存続できるだろうという考えをしており、それらをセットにした活動も必要だろうと考えております。
- (会長)この件は、市長陳情で前向きの姿勢が出ている。塩田中学校の改築で、駅側のバレーコート部分を駐車場にという動きもある。別所線には観光客用のトイレがなく困っている。別所線は観光に一役買っている。続いて、 の方に入って、また最後のところでご意見等お出しいただきたい。会議時間は2時間より少し延ばさせていただくがお願いします。
- (委員)対策としてこれだというものはない。耕作する人がいないので遊休荒廃地が多い。田なら作り手もあるが、畑では作り手を確保する方策が無く、牧場くらいしかないと思う。何か考えないといけない。
- (委員)家の畑も荒れ放題になっている状況。都会の人ややりたい人ということで自治会の方でも考えてはいるが。
- (委員)意見の対象はどのくらいにするのか。
- (会長)各自の意見はシートに書き込んでいただきたい。
- (委員)異論は無いがギャップがある。施策に結びつけるのが難しい。
- (委員)夢を語ってくれということだが、具体的になってきている。否定する人はいないが、行政としての施策があって、それに意見をとすべきではないか。
- (委員)市はそういうことは求めている、地域協議会で提案してほしいということだと思う。私は言ってもらわない方がいい、それが意味がある。
- (委員)そうするともっと時間が必要だ。
- (会長)十分闊達に意見を出していただきたい。この件は、何をしたいのか分からないというような状態とも思う。
- (委員)農業に興味ある人は多い。やりたい人は、インターネット等で知らせれば多いはず。団塊の世代などをターゲットにして、また、上田市の中でもそういう人は多いので、そういう方向が良いのではないか。
- (委員)田空にもつながることだが、これは後で資料を出してもらって。森林保全の関係で、松くい虫の被害は甚大なものがある。塩田は松茸の観光客も多いが、その松く

- いの状況は大きな影響がある。塩田地域として出していきたい問題で、自治会としても出していきたい問題
- (委員) 国の方針で農業は大規模化に向かっており、JAもその方向で進んでいる。市としてもきめ細かく、力を入れて考えていただきたい。
- (委員) これは大変難しい問題で、そもそも採算が合わないと衰退していくもの。価値は330倍にもなったが、米価は70倍にとどまっている。高齢化が進み、JA中心に法人組合化でもしていかないと塩田の田園風景の確保を心配している。委託管理化もしていくべきと思う。
- (会長) 次に、の件に移っていききたい。
- (委員) 幼稚園から大学までの代表者を地域協議会に作ってほしい。別所では地域で子どもを育てたいという思いがあり、行事を企画するが、当日は大学の催しに行ってしまうような状況がある。長野大学も地域に門戸広げているが、地域との連絡体制が無い状況
- (委員) 現実に行事等は沢山あるが、住民の人も知らない人が多いのではないかと。長野大学以外は割合知らない人が多いので、地元へのPRが必要で、どこからか発信して欲しい。
- (会長) さくら高校もあまり知られていない。
- (委員) 女子短大は幼児教育、工科短大は労働省系の県が設立した学校だが、地域とのつながりの実践もしており、報道もされている。
- (委員) お願いだが、市内高校から3大学への入学者数について教えていただきたい。
- (委員) 市の担当者も参加して考えていただきたい。行政としてタッチできるのかどうか含め一緒になってやってほしい。
- (委員) 塩田公民館ではそのテーマについて取り組んでいる。学校のイベントは広報で知らせており、公民館が橋渡し役を担っている。
- (会長) 他にどうでしょう。
- (委員) このとおりで結構です。
- (委員) 特には無いが、大学のイベント等は公民館だよりで見ている。
- (委員) 長野大学の福祉学科は色々取り組んでおり、地域と協力してやっており、下之郷でも住民とともに活動している。
- (会長) 次に4番目のコミュニティ施設について、これも大きな問題の一つだが、夢をお聞かせ願いたい。
- (委員) 塩田中学校改築で、生涯学習の拠点にもなるが、畳の部屋がどうなるのかということも出ている。使いやすい施設にしてほしい。今、成人式をJAで行っているが、成人式ができる広さの施設がほしい。
- (委員) まさにここに記載のとおりで、地域活動の拠点となるので、是非早急に整備をお願いしたい。
- (小林センター長) 報道されたのは、塩田、川西の複合施設が実施計画上に位置付けられ方向付けされたということだが、順位は決まっていない。予算要求一緒という財政状況にもなく、どちらかが優先でということになる。
- (委員) 漠然としていて具体性がない。いつ頃できるのか何年ごろ予定しているのか、田空事業との関連もあり、田空だめならコミュニティセンターを早くという考えもあるが。
- (小林センター長) 実施計画では19から21年度に位置付けられている。ゴミ処理施

設の受け入れとか様々な要因があり、これから優先順位を総合的に判断していくこととなる。

(委員)ゴミ施設とは切り離して、これまでの3回陳情の経緯を踏まえていただきたい。

(会長)議会での採択もされている。

(委員)今の話は東山のゴミ処理施設とリンクしていると聞ける。

(小林センター長)2か所の優先順位の中で、ゴミ処理施設は必要な施設であるが、反対もある状況

(委員)これは微妙な問題だが、東山は下之郷、コミュニティセンターは塩田全域のものなので、誤解のないようにお願いしたい。

(委員)あくまでゴミ処理施設は切り離して考えていくべきもので、コミュニティは具体的回答も得ているもので、この協議会で答申していくべきものとする。

(委員)これは地区として長年の要望事項、重要事項であり、早期実現で盛り込んだほうが良い。塩田中学校改築の件で、民生委員さんからも言われたことだが、グラウンドの排水設備について強く要望出されたが今回は対象外ということで教育委員会からは回答があったようです。皆さんにも意見を伝えることをご承知いただきたい。

(委員)支所の機能はどうなるのか。

(塩田センター長)今の支所機能は維持するということです。コミュニティ機能は向上するというので。

(小林センター長)センターは、支所機能と自治センター機能があるということですが、支所については、行政改革等で人員削減も求められているところでもある。

(会長)中学改築の件では、良いものを作るが、できるのなら校庭も一緒にやっていきたいということです。グラウンドを大会のできるサッカー場に整備すれば、別所線の利用促進を図ることも可能と思います。全体を通じたご意見があればお出しいただきたい。

(塩田センター長)新たな項目としてのご意見があればお出しいただきたい。

(委員)中塩田地区では4年生から子ども館を利用できないため困っているの、児童センターの建設をお願いしたい。

(会長)小学校の中という話でも進んでいる。

(委員)少子高齢化の社会の中で、高齢者の負担増の問題があり、上田地域の項目について、塩田地域としても取り込みたい。

(委員)4つともごもつとも、ハード面の充実も良いが、エリアを活かした対策が必要ではないか。建築の規制等も必要

(委員)塩田の良い田園風景が看板で遮られている所もある。

(会長)塩田地域として、看板の対策は既に進めているところです。

(委員)日常生活の日照権、ゴミ、排気ガス等の項目がないが。

(会長)ゴミ減量は必要なこと。生活に関連することも書いていただいて。

(委員)よく見ると大事な教育の字句が見当たらない。

(塩田センター長)意見シートにつきましては、1月9日までに事務局までお願いしたいと思います。

(会長)1月9日厳守でお願いしたい。